

日大歯学投稿規定

平成 21 年 3 月 19 日

1. 投稿資格

本誌へ投稿する著者（共著者も含む）は日本大学歯学会の会員に限る。ただし，編集委員会が特に認めたものはこの限りでない。

2. 投稿論文の種類

原著論文，総説，講座，臨床およびその他とし，他の雑誌に未発表のもの，あるいは発表予定の無いものに限る。

編集委員会は総説論文等の投稿を依頼することができる。

3. 倫理的配慮

投稿論文は，ヒトを対象とする場合はヘルシンキ宣言（以後の改定，補足事項を含む）およびその他の倫理規定を遵守し，動物実験は「日本大学歯学部動物実験に関する指針」に基づいて倫理的に行われたものでなければならない。

4. 投稿論文の採否

投稿論文の査読後，その採否および掲載順序を編集委員会が決定する。なお，編集委員会は文意に変化を来さない範囲において字句の改訂を行うことができる。

5. 投稿論文の形式

投稿論文の作成にあたっては，投稿の手引きに従い A4 判横書きで作成し，表紙から文献まで通しページをつける。表紙ページには論文表題，著者名，所属機関名を和文で明記する。2 ページ目に和文で 20 字以内のランニングタイトル，600 字以内の要旨，5 個以内のキーワードを付ける。原稿およびその内容を電子媒体（CD 等）に保存したものを提出する。

なお，図表作成に際して用いたソフト名およびバージョンを記載する。

1) 表題

研究の主旨を具体的かつ簡潔に表現する。また，論文を数報に分けて発表するときは，その表題の次に内容を具体的に表す副題を付ける。

2) 著者・所属

著者名の表記（旧字，異体字）は著者自身が指定する。また，著者の所属機関が異なる場合は氏名の右肩に数字を付け，所属の左肩にも数字を付ける。

3) ランニングタイトル

表題を 20 字以内に要約する。

4) 要旨

研究の目的，方法，成績および結論を 600 字以内で簡潔に表現する。その研究の重要なポイントを盛り込む。

5) キーワード

5 個以内の研究の主旨を的確に表現し，かつ効率的に情報が検索できる用語を付与する。

6) 本文

本文は原則として緒言，材料および方法，結果，考察の順に記述する。

本体はひらがなまじりの口語文章体（いわゆる「である体」）とし，常用漢字，現代仮名遣いを用いる。代名詞，接続詞，副詞，助動詞などは仮名書きとする。

学術用語は「文部省学術用語集歯学編（増訂版）」および各学会制定の用語を使用する。単位と記号は国際単位系（System International d'Unites, SI 単位系）を用いる。数字はアラビア数字（算用数字）を用いる。ただし，数字を含む名詞などは漢字とする。外国語の人名は姓の第 1 文字を大文字で記す。国名，地名および書名は原則として原綴のままとする。

(1) 緒言

研究の目的と意義を簡潔に記述する。

(2) 材料および方法

研究に用いた材料，方法，手順を詳細に記述する。使用した薬物および器材は製造会社名，形式等を補記する。

(3) 結果

図表は必要最小限とし，わかり易く提示する。

(4) 考察

研究から得られた成績を検討し，新知見，問題点，今後への展開などを明解に述べる。

7) 謝辞および学会発表

各種助成金等の営利を目的としない資金援助，技術的・物的援助，著者には含まれない指導者・協力者の氏名・所属機関名および発表学会名などを記載する。

8) 文献

本文中に引用した文献は引用順に以下の形式で記載する。

雑誌

1) 姜 宜, 翁 文鴻, 本吉 満, 川崎一也, 山下道也, 納村晉吉 (1993) Wits appraisal と ANB の相関について 台湾人学童における検討 , 日大歯学 67, 964-968.

2) Zabro RJ, Daniels TE, Greenspan JS (1993) Oral traumatic granuloma: Characterization of the cellular infiltrate. Oral Surg Oral Med Oral Pathol 75, 723-727.

単行書

- 1) 矢田純一 (1997) 医系免疫学. 改訂5版, 中外医学社, 東京, 236-263.
- 2) 伊藤公一 (1997) 強電解酸性水の歯周病治療への応用. 強電解酸性水の歯科臨床, 芝 燐彦, 村井正大, 天笠光雄編, クインテッセンス出版, 東京, 120-129.
- 3) Clark WG, Brater DC, Johnson AR (1992) Goth's medical pharmacology. 13th ed, Mosby, St Louis, 584-591.
- 4) Kaugars G (1991) Benign fibro-osseous lesions. In Oral & Maxillofacial Radiology, Miles DA, Kaugars GE, Van Dis M, Lovas JGL eds, Saunders, Philadelphia, 125-153.

翻訳書

- 1) White GE (1993) Osseointegrated dental technology. Quintessence, London: 前田芳信訳 (1995) ホワイトのインプラント上部構造. クインテッセンス出版, 東京, 47-60.

9) 図および表

図および表は本文とは別にし, 図表番号を明記して, 本文の欄外に挿入位置を朱書きする。なお, その説明は別紙に図表番号とその表題, 説明などを一括して記載する。

6. 校正

初校は著者が行う。印刷上の誤り以外の加筆訂正は認めない。

7. 著作権

本誌に掲載された論文, 抄録などの著作権は日本大学歯学会に帰属する。

8. 掲載料

著者は印刷, 別刷作製に関わる実費を負担する。

9. 投稿論文の送付先

所定の投稿申込用紙に必要事項を記入のうえ, 下記へ送付する。

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台 1-8-13

日本大学歯学部研究事務課気付

日大歯学編集委員会

TEL : 03-3219-8060, FAX : 03-3219-8324

E-mail : de.institute@nihon-u.ac.jp